第６表　溶接材料 新旧 JIS 表記及び AWS 表記について

JIS溶接材料の規格表記は、ISO表記と整合化のため、近年の改正により大きく変更されました。
以下、溶接材料の新・旧JIS化学成分種類の表記をＡＷＳと共に示します。ただしフラックスタイプや溶接姿勢の表記は省略しています。

鋼種･溶接方法	JIS規格番号		AWS規格番号
	新JIS表記	旧JIS表記	AWS表記
ステンレス鋼被覆アーク溶接棒	JIS Z 3221		AWS A5.4
	ES○○○ (例)ES308	D○○○ (例)D308	E○○○ (例)E308
ステンレス鋼溶加棒、ソリッドワイヤ	JIS Z 3321		AWS A5.9
	YS○○○ (例)YS308	Y○○○ (例)Y308	ER○○○ (例)ER308
ステンレス鋼フラックス入りワイヤ	JIS Z 3323		AWS A5.22
	TS○○○ (例)TS308-FC0	YF○○○ (例)YF308-C	E○○○T (例)E308T0-4
ステンレス鋼サブマージアーク溶接ワイヤ及びフラックス	JIS Z 3324		AWSでは、ワイヤ成分のみA5.9で規定
	YW S○○○ (例)YW S308	S○○○ (例)S308	
ステンレス鋼帯状電極肉盛溶接材料	JIS Z 3322		AWSでは、フープ成分のみA5.9で規定
	YB S○○○ (例)YB S308-F	YB○○○ (例)YB304F	
ニッケル合金被覆アーク溶接棒	JIS Z 3224		AWS A5.11
	ENi○○○ (例)ENi6182	D○○○ (例)DNiCrFe-3	E○○○ (例)ENiCrFe-3
ニッケル合金溶加棒、ソリッドワイヤ	JIS Z 3334		AWS A5.14
	SNi○○○ (例)SNi6082	Y○○○ (例)YNiCr-3	ER○○○ (例)ERNiCr-3
ニッケル合金フラックス入りワイヤ	JIS Z 3335		AWS A5.34
	TNi○○○ (例)TNi6082	—	E○○○T (例)ENiCr3T0-4
チタン合金溶加棒、ソリッドワイヤ	JIS　Z 3331		AWS A5.16
	STi○○○ (例)STi0100	YTB○○○ (例)TYB270	ER○○○ (例)ERTi-1
アルミ合金溶加棒、ソリッドワイヤ	JIS Z 3232		AWS A5.10
	A○○○○　(例)A1100-BY (変更無しISO表記は併記扱い)		ER○○○○ (例)ER1100
銅･銅合金被覆アーク溶接棒	JIS Z 3231　(未改正)		AWS A5.6
	D○○○　(例)DCuNi-3		E○○○(例)ECuNi
銅･銅合金溶加棒、ソリッドワイヤ	JIS Z 3341　(未改正)		AWS A5.7
	Y○○○　(例)YCuNi-3		ER○○○(例)ERCuNi
鋳鉄用被覆アーク溶接棒	JIS Z 3252		AWS A5.15
	EC○○○ (例)ECNi-CI	DFC○○○ (例)DFCNi	E○○○(例)ENiCI